

# 「おいしが うれしがキャンペーン」および「環境こだわり農産物」についてのアンケート結果

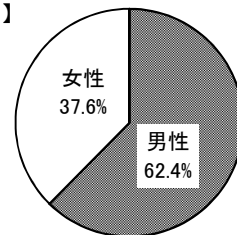
- ★調査目的 : 県では、地域で生産されたものを地域で消費する“地産地消”を推進する「おいしがうれしが」キャンペーンや、農薬・化学肥料の使用量を減らし、琵琶湖などの周辺環境に配慮した栽培を実践する「環境こだわり農業」の推進にも取り組んでいるところです。  
県民のみなさまの、地産地消や環境こだわり農業に対する意識等を把握し、今後さらに生産者・販売者等を応援して、これらの取組を広げていくことを目的としてアンケート調査を実施しました。
- ★調査時期 : 平成25年10月
- ★対象者 : 県政モニター 399人
- ★回答数 : 327人 (回収率 82.0%)
- ★担当課 : 食のブランド推進課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

## ◆ あなたの性別と年齢を教えてください。

	男性	女性	計	割合
10・20歳代	11	6	17	5.2%
30歳代	16	39	55	16.8%
40歳代	29	39	68	20.8%
50歳代	32	27	59	18.0%
60歳代	77	12	89	27.2%
70歳以上	39	0	39	11.9%
計	204	123	327	100.0%
割合	62.4%	37.6%	100.0%	

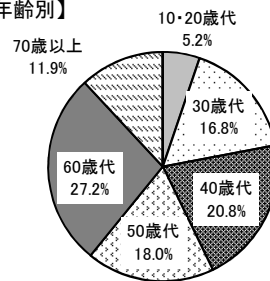
【性別】



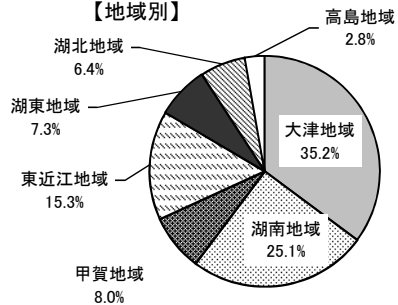
## ◆ あなたのお住まいの地域を教えてください。

	男性	女性	計	割合
大津地域	79	36	115	35.2%
湖南地域	53	29	82	25.1%
甲賀地域	13	13	26	8.0%
東近江地域	29	21	50	15.3%
湖東地域	13	11	24	7.3%
湖北地域	12	9	21	6.4%
高島地域	5	4	9	2.8%
計	204	123	327	100.0%

【年齢別】

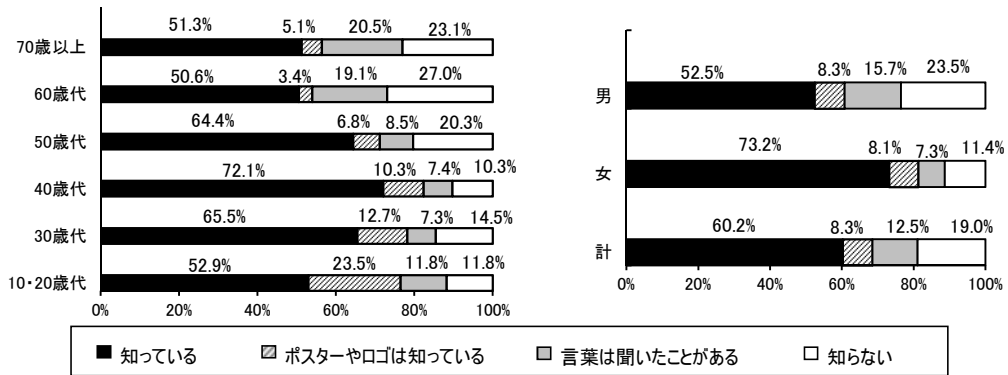


【地域別】



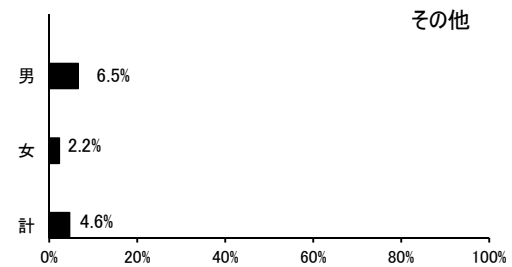
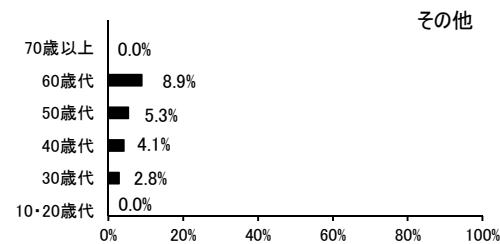
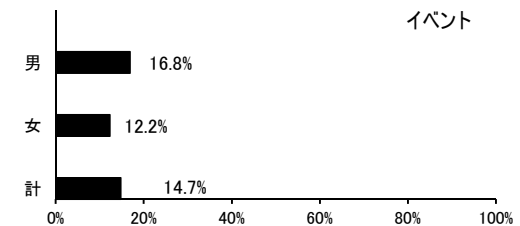
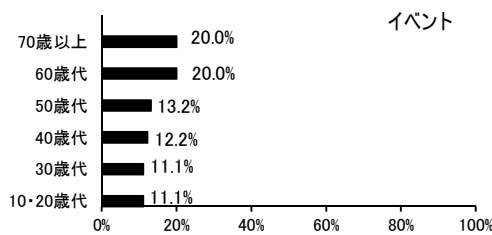
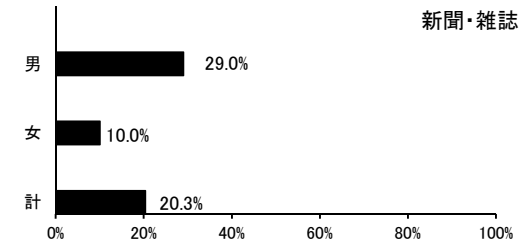
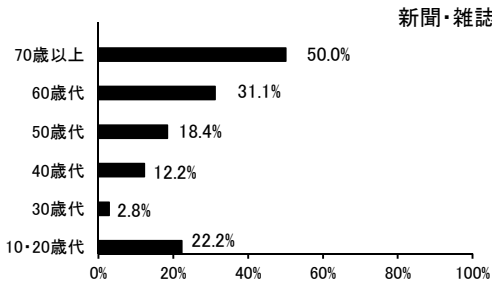
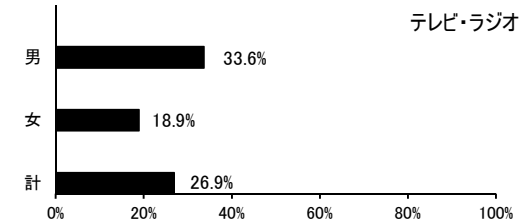
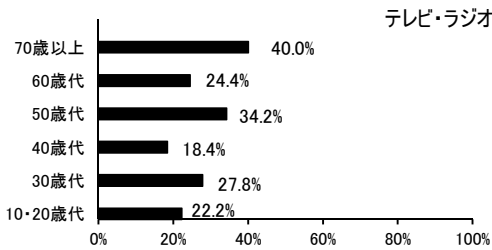
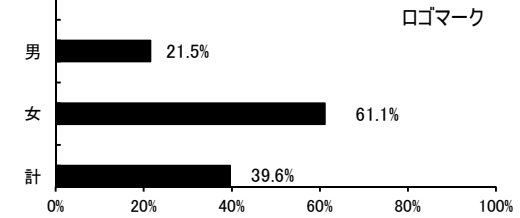
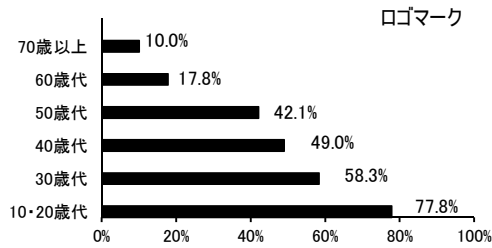
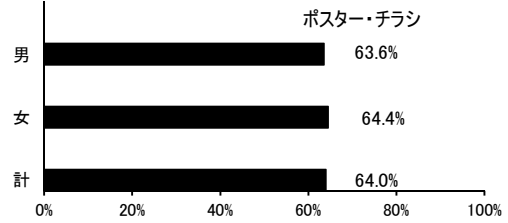
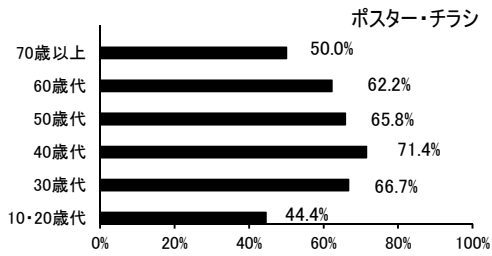
【問1】 「おいしが うれしが」キャンペーンでは、県内の飲食店や小売店等が滋賀県産の農水産物を積極的に提供するなどの地産地消の取組を行っています。あなたは、「おいしが うれしが」キャンペーンのことを知っていますか。（回答チェックは1つだけ。 n=327）
【回答】 1. ポスターやロゴマークがあるお店や商品には、滋賀県産農水産物が活用されていること（地産地消の取組であること）を知っている 2. ポスターやロゴマークは見たことがあるが、地産地消の取組であることは知らない 3. 「おいしが うれしが」という言葉は聞いたことがあるが、地産地消の取組であることは知らない 4. 知らない

	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	9	36	49	38	45	20	107	90	197	60.2%
2.	4	7	7	4	3	2	17	10	27	8.3%
3.	2	4	5	5	17	8	32	9	41	12.5%
4.	2	8	7	12	24	9	48	14	62	19.0%
計	17	55	68	59	89	39	204	123	327	100.0%



【問2】 問1で「1」に回答された方にお聞きます。「おいしが うれしが」キャンペーンの取組をどこで見ましたか。（回答チェックは2つまで n=197）
【回答】 1. お店等でのポスターやチラシ 2. 商品に貼ってあるロゴマーク 3. テレビやラジオなどのメディア 4. 新聞や雑誌などの記事や広告 5. 食に関するイベント 6. その他

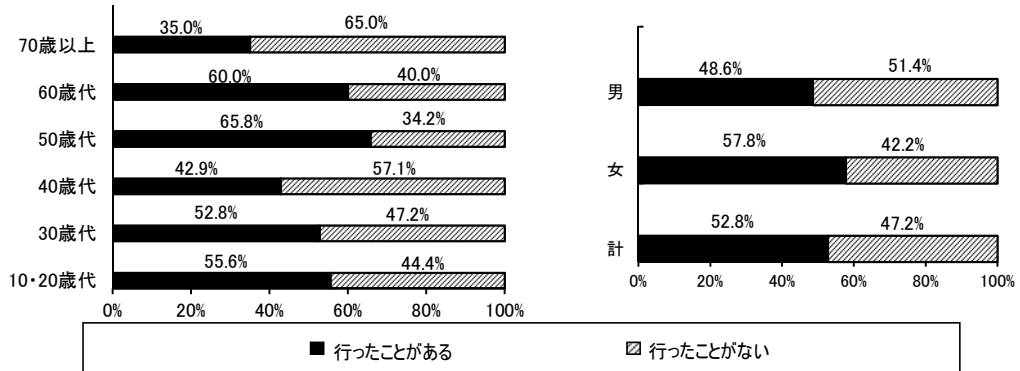
	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	4	24	35	25	28	10	68	58	126	64.0%
2.	7	21	24	16	8	2	23	55	78	39.6%
3.	2	10	9	13	11	8	36	17	53	26.9%
4.	2	1	6	7	14	10	31	9	40	20.3%
5.	1	4	6	5	9	4	18	11	29	14.7%
6.	0	1	2	2	4	0	7	2	9	4.6%
計	16	61	82	68	74	34	183	152	335	



【問3】 問1で「1」に回答された方にお聞きします。あなたは「おいしが うれしが」キャンペーンのポスターやのぼりがある飲食店や小売店をキャンペーン推進店と認識して行ったことがありますか。（回答チェックは1つだけ n=197）

- 【回答】 1. 行ったことがある  
2. 行ったことがない

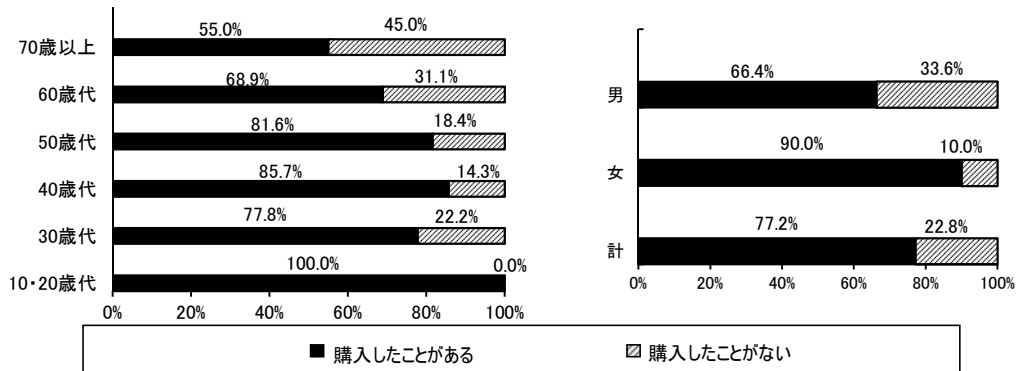
	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	5	19	21	25	27	7	52	52	104	52.8%
2.	4	17	28	13	18	13	55	38	93	47.2%
計	9	36	49	38	45	20	107	90	197	100.0%



【問4】 問1で「1」に回答された方にお聞きします。あなたは「おいしが うれしが」キャンペーンのロゴマークの入った商品を購入したことがありますか。（回答チェックは1つだけ n=197）

- 【回答】 1. 購入したことがある  
2. 購入したことがない

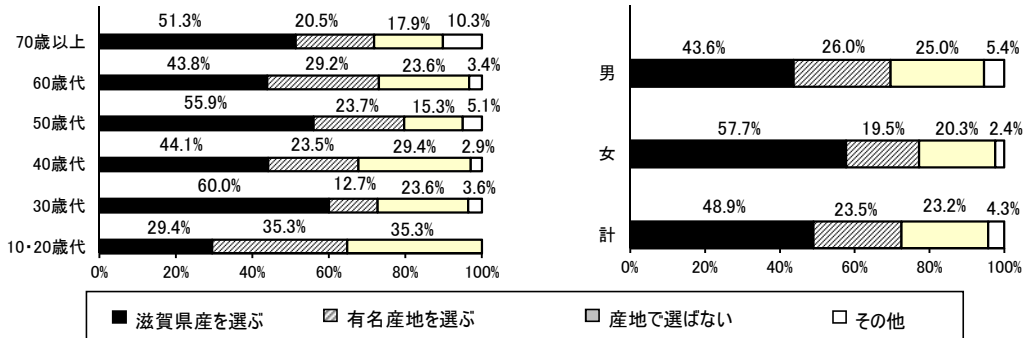
	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	9	28	42	31	31	11	71	81	152	77.2%
2.	0	8	7	7	14	9	36	9	45	22.8%
計	9	36	49	38	45	20	107	90	197	100.0%



【問5】 滋賀県産の農水産物やそれを使った料理や商品を選んで食べたり、購入されたりしていますか。  
(回答チェックは1つだけ n=327)

- 【回答】 1. 商品があれば、できるだけ滋賀県産農水産物に関係のある商品を選んでいる  
2. 滋賀県産農水産物に限らず、有名産地の農水産物に関係のある商品を選ぶようにしている  
3. 特に産地で商品を選んでいない  
4. その他

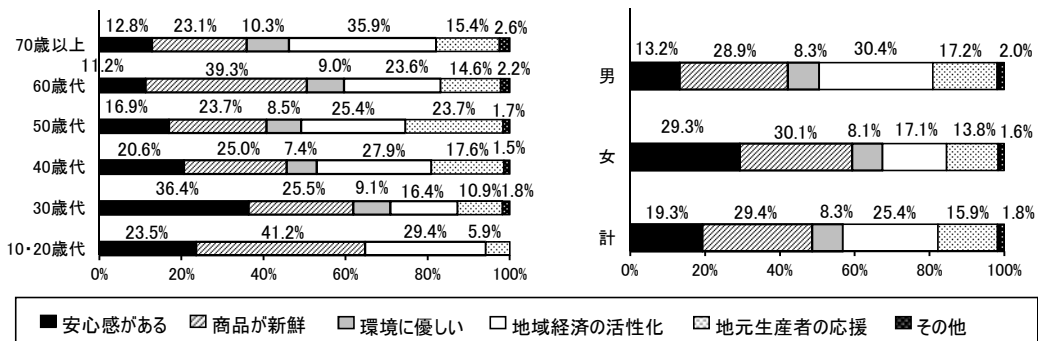
	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	5	33	30	33	39	20	89	71	160	48.9%
2.	6	7	16	14	26	8	53	24	77	23.5%
3.	6	13	20	9	21	7	51	25	76	23.2%
4.	0	2	2	3	3	4	11	3	14	4.3%
計	17	55	68	59	89	39	204	123	327	100.0%



【問6】 「地産地消」の取組について、あなたが最もよいと思う点はどれですか。  
(回答チェックは1つだけ n=327)

- 【回答】 1. 近くで生産されているので、安心感がある  
2. 近くで生産されているので、商品が新鮮である  
3. 近くで生産されており、収穫物の搬送距離が短いので、環境に優しい  
4. 生産から消費までの活動が地域で完結するので、地域経済が活性化する  
5. 地元生産者を応援することにつながる  
6. その他

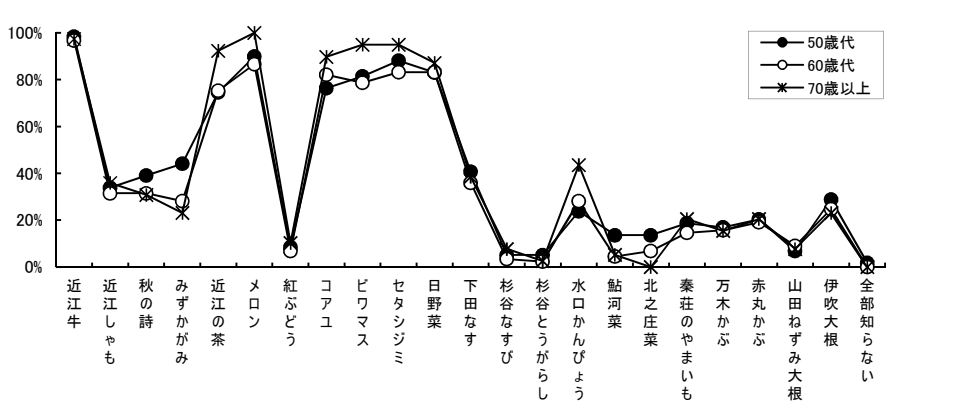
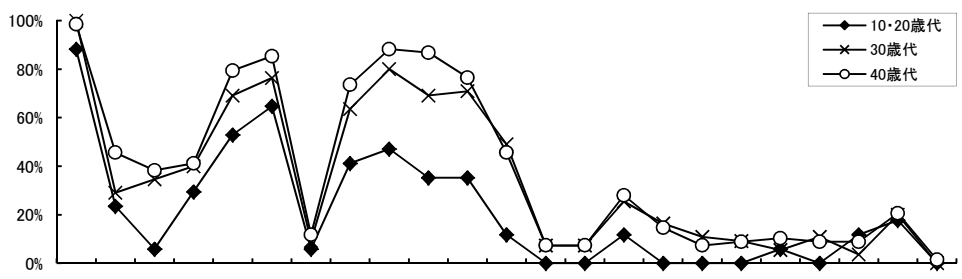
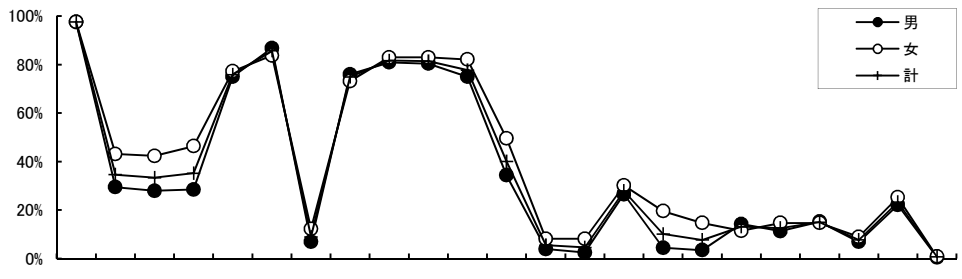
	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	4	20	14	10	10	5	27	36	63	19.3%
2.	7	14	17	14	35	9	59	37	96	29.4%
3.	0	5	5	5	8	4	17	10	27	8.3%
4.	5	9	19	15	21	14	62	21	83	25.4%
5.	1	6	12	14	13	6	35	17	52	15.9%
6.	0	1	1	1	2	1	4	2	6	1.8%
計	17	55	68	59	89	39	204	123	327	100.0%



【問7】 滋賀県には、県外でも有名な農産物もあれば、県内各地域で古くから親しまれている伝統野菜や琵琶湖でしか捕れない固有魚種もあります。あなたの知っている滋賀県の農水産物すべてにチェックしてください。（回答チェックはいくつでも可 n-327）

- 【回答】
1. 近江牛（滋賀で育てられる黒毛和種）
  2. 近江しゃも（滋賀で育成された肉用鶏）
  3. 秋の詩（滋賀県育成の近江米品種）
  4. みずかがみ（滋賀県育成の近江米新品種）
  5. 近江の茶（土山茶、朝宮茶、政所茶など）
  6. メロン（守山市、草津市、東近江市など）
  7. 紅ぶどう（県内全域）
  8. コアユ（琵琶湖）
  9. ビワマス（琵琶湖固有種）
  10. セタシジミ（琵琶湖固有種）
  11. 日野菜（日野町）
  12. 下田なす（甲賀市）
  13. 杉谷なすび（甲賀市）
  14. 杉谷とうがらし（甲賀市）
  15. 水口かんぴょう（甲賀市）
  16. 鮎河菜（甲賀市）
  17. 北之庄菜（近江八幡市）
  18. 秦荘のやまいも（愛荘町）
  19. 万木かぶ（米原市）
  20. 赤丸かぶ（米原市）
  21. 山田ねずみ大根（草津市）
  22. 伊吹大根（米原市）
  23. 全然知らない

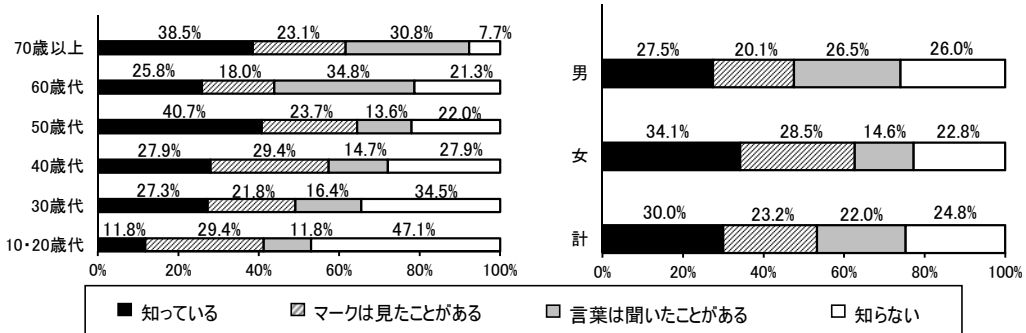
	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	15	55	67	58	86	38	199	120	319	97.6%
2.	4	16	31	20	28	14	60	53	113	34.6%
3.	1	19	26	23	28	12	57	52	109	33.3%
4.	5	22	28	26	25	9	58	57	115	35.2%
5.	9	38	54	44	67	36	153	95	248	75.8%
6.	11	42	58	53	77	39	177	103	280	85.6%
7.	1	5	8	5	6	4	14	15	29	8.9%
8.	7	35	50	45	73	35	155	90	245	74.9%
9.	8	44	60	48	70	37	165	102	267	81.7%
10.	6	38	59	52	74	37	164	102	266	81.3%
11.	6	39	52	49	74	34	153	101	254	77.7%
12.	2	27	31	24	32	15	70	61	131	40.1%
13.	0	4	5	3	3	3	8	10	18	5.5%
14.	0	4	5	3	2	1	5	10	15	4.6%
15.	2	14	19	14	25	17	54	37	91	27.8%
16.	0	9	10	8	4	2	9	24	33	10.1%
17.	0	6	5	8	6	0	7	18	25	7.6%
18.	0	5	6	11	13	8	29	14	43	13.1%
19.	1	3	7	10	14	6	23	18	41	12.5%
20.	0	6	6	12	17	8	31	18	49	15.0%
21.	2	2	6	4	8	3	14	11	25	7.6%
22.	3	11	14	17	22	9	45	31	76	23.2%
23.	0	0	1	1	0	0	1	1	2	0.6%
計	83	444	608	538	754	367	1,651	1143	2,794	



【問8】 「環境こだわり農産物」は、農薬と化学肥料の使用量を通常の5割以下に減らし、琵琶湖をはじめとした周辺環境に配慮した技術で生産され、図のような認証マークをつけて販売されています。あなたは、「環境こだわり農産物」を知っていますか。  
(回答チェックは1つだけ n=327)

【回答】 1. 環境こだわり農産物が、農薬と化学肥料の使用量を通常の5割以下に減らし、琵琶湖をはじめとした周辺環境に配慮した技術で生産された農産物であることを知っている  
2. 認証マークは見たことがあるが、内容については知らない  
3. 「環境こだわり農産物」という言葉は聞いたことがあるが、内容については知らない  
4. 知らない

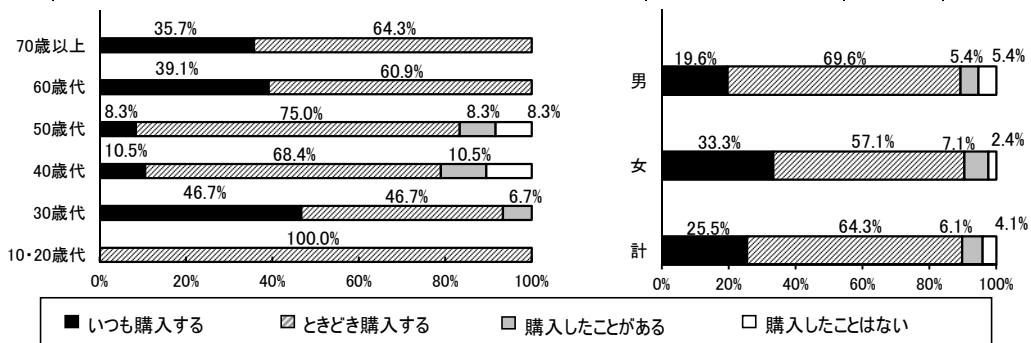
	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	2	15	19	24	23	15	56	42	98	30.0%
2.	5	12	20	14	16	9	41	35	76	23.2%
3.	2	9	10	8	31	12	54	18	72	22.0%
4.	8	19	19	13	19	3	53	28	81	24.8%
計	17	55	68	59	89	39	204	123	327	100.0%



【問9】 問8で「1」に回答された方にお聞きます。あなたは「環境こだわり農産物」を購入されたことがありますか。(回答チェックは1つだけ n=98)

【回答】 1. 商品があればいつも購入するようにしている  
2. 商品があればときどき購入している  
3. 購入したことがあるが、最近では購入していない  
4. 購入したことがない

	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	0	7	2	2	9	5	11	14	25	25.5%
2.	2	7	13	18	14	9	39	24	63	64.3%
3.	0	1	2	2	0	0	3	3	6	6.1%
4.	0	0	2	2	0	0	3	1	4	4.1%
計	2	15	19	24	23	14	56	42	98	100.0%



\*分母は、問8で「1. 知っている」と回答した人数

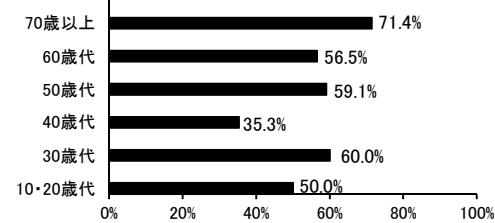


【問10】 問9で「1」～「3」に回答された方にお聞きします。あなたが「環境こだわり農産物」を購入する理由はなんですか。（回答チェックはいくつでも可 n=94）

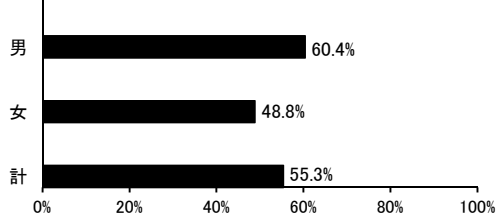
- 【回答】
1. 環境に配慮してつくられた農産物だから
  2. 安全で安心感のある農産物だから
  3. 滋賀県産の農産物だから
  4. 地元の生産者を応援したいから
  5. その他

	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	1	9	6	13	13	10	32	20	52	55.3%
2.	1	11	12	16	16	11	35	32	67	71.3%
3.	1	8	11	10	12	9	31	20	51	54.3%
4.	0	5	6	13	8	8	22	18	40	42.6%
5.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
計	3	33	35	52	49	38	120	90	210	

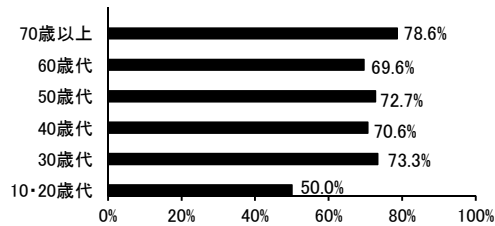
環境に配慮してつくられた農産物だから



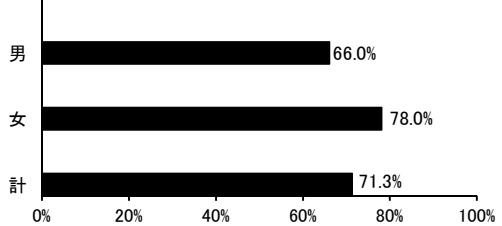
環境に配慮してつくられた農産物だから



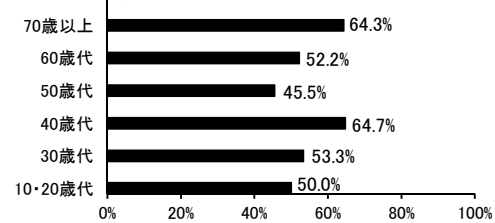
安全で安心感のある農産物だから



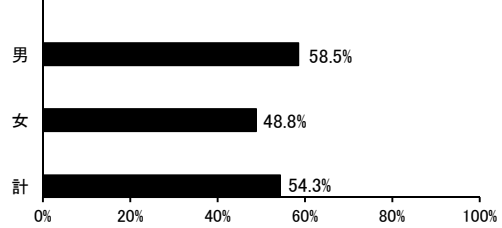
安全で安心感のある農産物だから



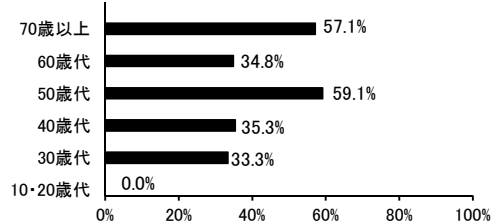
滋賀県産の農産物だから



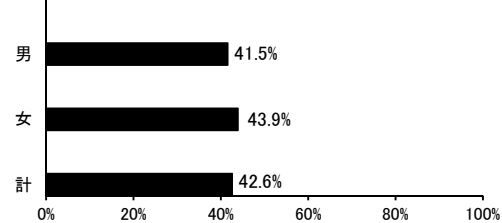
滋賀県産の農産物だから



地元の生産者を応援したいから



地元の生産者を応援したいから

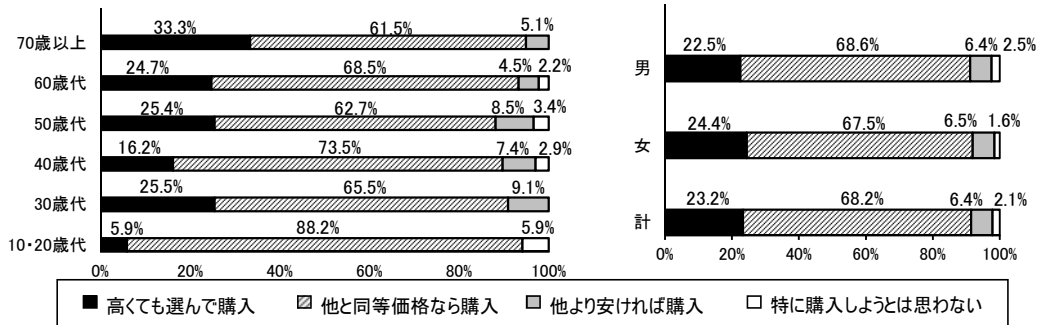


\*分母は、問9で「1」～「3」に回答した人数

【問11】 今後あなたは、「環境こだわり農産物」を店頭でみかけた際、購入しようと思いますか。（回答チェックは1つだけ n=327）

- 【回答】
1. 他の農産物より少々高くても選んで購入する
  2. 他の農産物と同等の価格であれば購入する
  3. 他の農産物より安ければ購入する
  4. 特に購入しようとは思わない

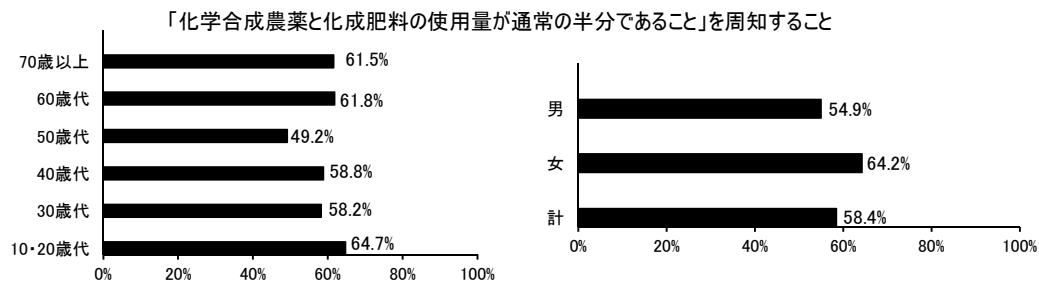
	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	1	14	11	15	22	13	46	30	76	23.2%
2.	15	36	50	37	61	24	140	83	223	68.2%
3.	0	5	5	5	4	2	13	8	21	6.4%
4.	1	0	2	2	2	0	5	2	7	2.1%
計	17	55	68	59	89	39	204	123	327	100.0%

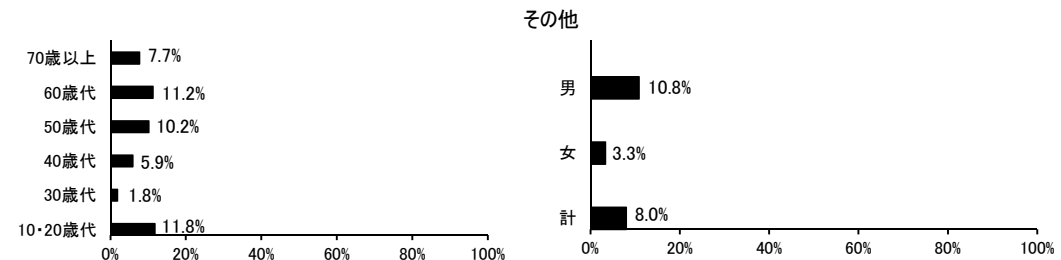
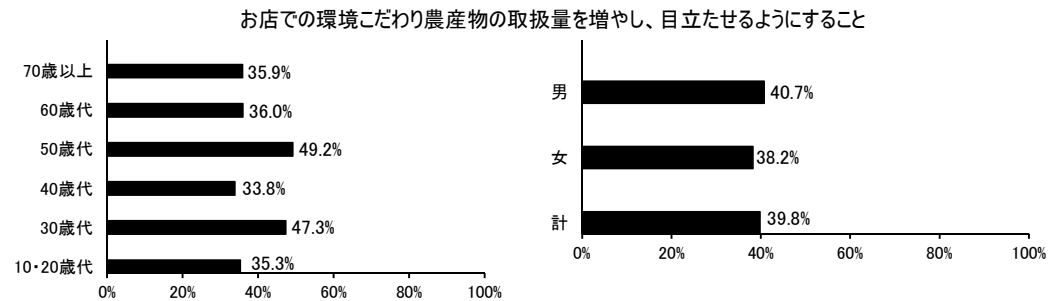
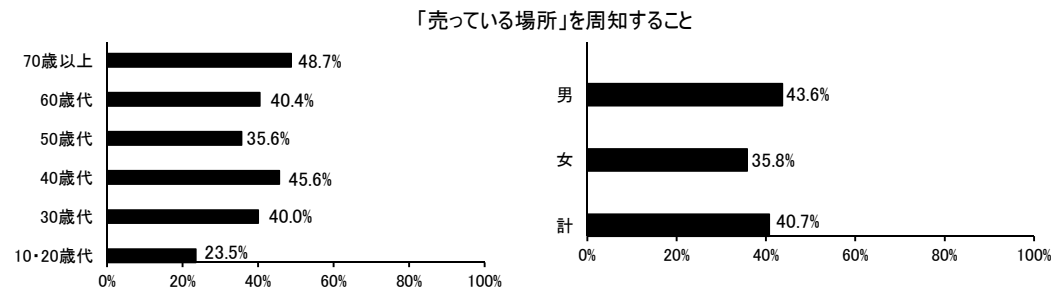
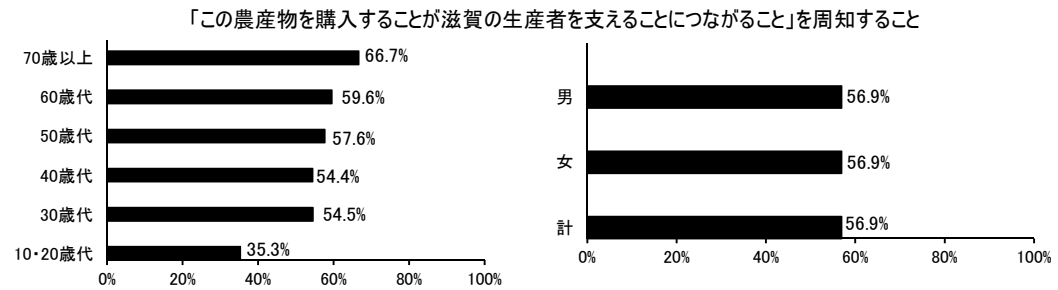
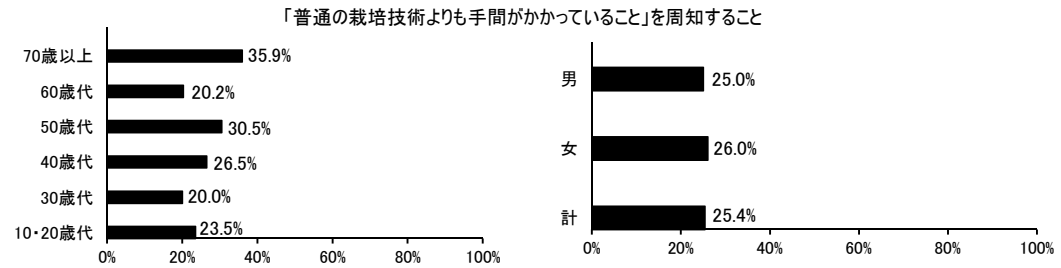
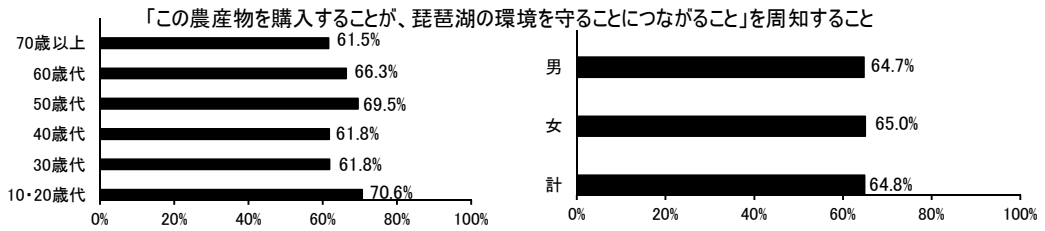


【問12】 「環境こだわり農産物」を選んで購入していただくために、重要なことは何だと思えますか（回答チェックはいくつでも可 n=327）

- 【回答】
1. 「化学合成農薬と化成肥料の使用量が通常の半分であること」を周知すること
  2. 「この農産物を購入することが、琵琶湖の環境を守ることにつながること」を周知すること
  3. 「普通の栽培技術よりも手間がかかっていること」を周知すること
  4. 「この農産物を購入することが滋賀の生産者を支えることにつながること」を周知すること
  5. 「売っている場所」を周知すること
  6. お店での環境こだわり農産物の取扱量を増やし、目立たせるようにすること
  7. その他

	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	11	32	40	29	55	24	112	79	191	58.4%
2.	12	34	42	41	59	24	132	80	212	64.8%
3.	4	11	18	18	18	14	51	32	83	25.4%
4.	6	30	37	34	53	26	116	70	186	56.9%
5.	4	22	31	21	36	19	89	44	133	40.7%
6.	6	26	23	29	32	14	83	47	130	39.8%
7.	2	1	4	6	10	3	22	4	26	8.0%
計	45	156	195	178	263	124	605	356	961	

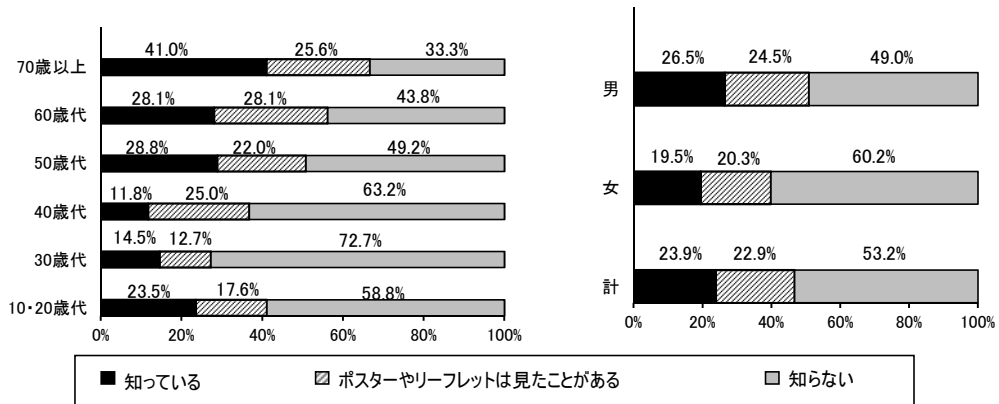




【問13】 今後も琵琶湖の環境を保全していくためには、環境こだわり農業に対する消費者の理解が不可欠です。滋賀県では「食べることで、びわ湖を守る。環境こだわり農産物」をキャッチフレーズに、消費者の皆様へ環境こだわり農産物を選んで買っていただく運動を推進しています。あなたは、この運動を知っていますか。（回答チェックは1つだけ n=327）

- 【回答】 1. 知っている  
2. ポスターやリーフレットは見たことがあるが、内容については知らない  
3. 知らない

	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	4	8	8	17	25	16	54	24	78	23.9%
2.	3	7	17	13	25	10	50	25	75	22.9%
3.	10	40	43	29	39	13	100	74	174	53.2%
計	17	55	68	59	89	39	204	123	327	100.0%



【問14】 その他、「おいしが うれしが」キャンペーン、「環境こだわり農産物」についてご意見がありましたらお聞かせください。

◆「おいしが うれしが」について

- \* のぼりをたくさん見かけるようになりました。県民の消費者の意識も変わってはきていると思います。地道な努力の必要な活動かとは思いますが、私は個人的に応援しています。
- \* 「環境こだわり農産物」は知っているが、「おいしが うれしが」キャンペーンは知らなかった。どんな方法で県民へ知らせているのですか？例えば、各市町村が発行する「広報」に掲載し、県民に知らせるなどしてほしい。
- \* 「おいしが うれしが」キャンペーンは大分周知していると思います。ただそれらの商品は日常立ち寄る食品スーパー等にはなく、たまに行く大津SAなどで見ます。やはりこのキャンペーンの対象者は主に私たち県民であるべきだと思うのでポスター、商品の設置場所を今一度検討すべきではないかと思えます。（もちろんSA等県外の方へのPRは継続して必要と考えてます。）
- \* 「おいしが うれしが」のロゴマークがどんどんお店に増えてほしいと思います。産地偽装など当たり前のようにあっては、消えていく現状では、消費者にとって安心出来るものがありません。県内で収穫されたものだから、新鮮で安全という安心感があります。お店によっては、滋賀県産のものばかり集めたコーナーがあり、そこに置いてあるものを、選ぶようになっています。特に小さな子供がいるので、安全なものをお口にしたと思います。ただ、そう思って購入しても、すぐに傷んでしまったり、不安も残ります。滋賀県産を多くの方が安心して食べられるこだわりをお願いしたいです。
- \* 意外にも年齢層の低い子供たちが非常に「おいしが うれしが」に関心を持っています。語呂がよくロザミヤすいことが理由かも知れません。食材の買い物に行った際に子供から「これ、『おいしが うれしが』やで！」と言われると、同類の食材の中でもついついそれを買ってしまいます。最近は体育、徳育と並んで、食育の重要性が高くなっていくように感じます。飽食の時代にあつて、大人だけでなく将来を担う子供たちへの”食”に対する意識づけの面からも、引き続き推進していただけたらと期待しています。
- \* 現在、BBCで放送されている”おいしがうれしが”をテーマにした番組を視聴しています。メディアでこれからも放送してほしいです。
- \* キャンペーン名称がしっくりときません。もう少し丁寧なタイトルであつてほしかつたと思えます。短縮やひっかけを用いた名称は違和感を持つ人たちが(年代等)が多いと考えます。

◆「環境こだわり農産物」について

- \* 環境こだわり農産物を置いているスペースが少なく思うので、もっと地元のスーパーにも広い場所を確保してもらえたらと思います。また、地元のスーパーも場所代等色々問題はあつたかと思えますが、もっと環境こだわり農産物を置ける努力をしていただきたいです。そして、農家の方が安心して生産できる体制をとっていただきたいと思えます。
- \* 環境こだわり農産物について、農薬、化学肥料は、通常どれくらい使用し、どれくらい減らしたのか、もっと具体的に知りた。どんなチェックをして認定しているのか知らないの、周知してほしい。
- \* 環境こだわりが肥料などを5割以下にしているのは知らなかった。それが体にもいいのなら小さい子供がいるのでこだわって買いたい。
- \* 環境こだわり農産物について、滋賀県の市民が、もっと理解をして、購入に協力することが、大切である。県としてももっと市民に環境にこだわり農産物を購入させる方法を、考えて、推進することが必要である。また販売店も、顧客にアピールする方法を行うことが必要である。
- \* 「環境こだわり農産物」を買う消費者より、「売る側」の認知度が低いような気がします。
- \* 環境こだわり農産物はまだまだ価格面で競争力が弱い、今後、消費税も上がり、消費者はどうしても安いものを買わざるを得ないので、価格面で勝負ができるように、県は生産者を応援してあげてほしい。
- \* 環境こだわり農産物は、生産者の負担が多いように思える。行政と地域が一体となつて、生産者の負担の軽減を行う必要があるのではないかと。その状況次第で、少しでも低価格化の実現による消費増加も期待したい。

◆共通

- \* とても良い取り組みだと思えます。地元の生産者を守るためにも、環境を守るためにも、私たち消費者の健康を守るためにも、今後も気長な取り組みを続けていけたらと思えます。それには、マークの意味をもっと消費者に知らせていく工夫が必要です。売り場では、パネルでキャンペーン内容を知らせたり、チラシを配布したりする試みもあればいいと思えます。商品にシールを貼るだけでは、内容理解が進みにくくと思えます。おいしい商品が多いので、もっと利用を勧めたいです。
- \* キャンペーンやロゴの入つた商品はよく目にするし、それはそれで非常に良いことであるが、具体的にそろぞれの意味するところ「琵琶湖の環境保全」や「滋賀の生産物に対する地産地消」などといった意味合いの周知がまだまだ不十分であると感じる。またこれらのキャンペーンと合わせて地元の子供たちへの食育ということについても併せてより力を入れていただければと思う。
- \* いつもありがとうございます。なるべく滋賀県産や地場産の物を食べ、滋賀県を応援していきます。
- \* 全ての食物を滋賀県で生産できるわけではないので、地産地消もどこまでやるのかよく検討する必要があると思う。輸入はともかくとして、国内である程度まとまった量をつくれるならば、国産国内消費ということでもよいだろうと思つています。
- \* 滋賀県に住んでいる限り滋賀県産のものを食べたいと思つているので、環境こだわり農産物の種類を増やしてほしい。そして飲食店にも滋賀県産の農産物を使い調理するように、働きかけてほしいと思つています。
- \* おいしがうれしがのロゴは良く見かけるし好きなデザインです。ロゴやデザインの意味が分かつてより親しみがわきました。環境こだわり農産物はマークはよく見かけるものの運動については知らなかったのが今回知ることができて良かったです。普段から地産地消を意識していますが、より多くの人に地産地消の良さを理解してほしいと思つています。
- \* いいから買う、食べる、という風になつていかないと、地域を守る、環境にいい、等では、消費者の行動にはつながらない。まずは、それを選ぶ人にとってのメリット(おいしいとか)が第一であるべきである。